

familyizu ってなあに?

familyizu は伊豆市の魅力がたっぷり詰まった子育て情報誌です。伊豆市で子育て中のパパやママがライターとなり、お出かけスポットやイベント情報、子育てのコラムなどリアルな情報をお届けしています。情報誌は年1回発行、Instagramでは毎週金曜日に発信しています。伊豆市に住んでいる方も、伊豆市に住んでみたいな~と思っている方も、ぜひご家族でご覧ください!



バックナンバー
こちらからご覧いただけます。



Instagram
フォローお願いします。

伊豆市を楽しむファミリーのための子育てマガジン
familyizu
ふあみりいず

伊豆市を楽しむファミリーのための子育てマガジン

familyizu

ふあみりいず

2026 Spring

vol.15

2026年
春号
vol.15

【企画・発行】familyizu 編集部
【編集・制作】ISABUYA CREATIVE

【問合せ】伊豆市役所子育て支援課

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野66-1 修善寺生いきプラザ内
TEL.0558-72-9864 FAX.0558-72-1196



こんなメンバーで
作っています!

パパ・ママ ライター紹介

- | | | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 
みなみ
小さな庭で息子たちと様々な野菜を育てることはまっています♪ | 
あやばん
新1年生男子の子育てに奮闘中! ワクワクと笑顔で人を繋げたい。 | 
けいこ
土日は次男の野球の送迎で土肥へ。土肥からの駿河湾の景色に毎回感動! | 
なつみ
季節の景色やイベントを家族で思いっきり楽しみたい。 |
| 
まさto
こどもの「できるようになったよ!」を日々楽しんでます。 | 
あやか
2歳差兄妹と色々なことにチャレンジして自分も成長したい! | 
ゆいこ
穏やかな旦那さんと一緒に、元気な4姉妹の育児に奮闘しています! | 
よしえ
地元のおいしいもの&子どもたちのサッカー応援を満喫しています♪ |
| 
みわ
ランチもスイーツタイムも心踊るおいしいお店がいっぱいな伊豆が大好き。 | 
イケミキ
土肥の自然に癒されながら仕事と思春期子育てに奮闘してます。 | 
カズMAX
子どもたちのおかげで、親の気持ちが変わってきました。今年の目標は親孝行。 | 
あこ
4歳娘との絵本時間が大好き。語彙力が増えた娘から先日諭されました。 |
| | 
hikaru
住み慣れた伊豆市での何気ないお出掛けが、ご家族の素敵なお出掛けになりますように。 | 
nao
親離れしつつある子どもたちとの“今”を全力で楽しみたい! | |

パピママライター随時募集中!

familyizuでは随時パピママライターを募集しています。特別なスキルは必要ありません! 「伊豆市での子育てをもっと楽しみたい!」「新しいことに挑戦してみたい!」「地域に貢献したい!」など、familyizuの活動に興味を持っていただけましたら、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせは
子育て支援課へ電話、
またはfamilyizu
InstagramのDMへ

皆さんの声を聞かせてください!

皆さんの声を参考にfamilyizuはこれからも進化していきたいと思っています。今号やInstagramについて、皆さんの感想やご意見をぜひ聞かせてください。

右のQRコードからアンケートにご協力をお願いします。



今号の表紙

ご縁があり、次女、三女、そして今回四女を桃太郎助産院で出産しました。布佐先生を始め、スタッフの皆さんが産前産後もママと赤ちゃん、そしてその家族に寄り添ってくれる、とても幸せな場所です。

■わたしの「幸せ」伊豆市での「幸せ」ってなんだろう?	01
■大人も子どもドキドキ・ワクワクの体験を!	03
■雨の日・暑い日のリアルな過ごし方	05
■たまには“わたし時間を” みんなのリフレッシュ法	07
■「まだ大丈夫」な今こそ、備えどき。	09
■伊豆市の未来を考える、こんな人	10
■familyizuってなあに? /ライター紹介	11

わたしの「幸せ」ってなんだろう？ 伊豆市での「幸せ」

「ウェルビーイング（Well-Being）」について考えてみた



最近、よく耳にする「ウェルビーイング」。言葉は聞いたことがあっても、実際に私たちにとって、どんなことを指すのか分からない。そこでfamilyizuメンバーが、ウェルビーイング指標活用ファシリテーターの中野あゆみさんに聞いてみました。

ウェルビーイング=肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、全てが満たされている状態であること。

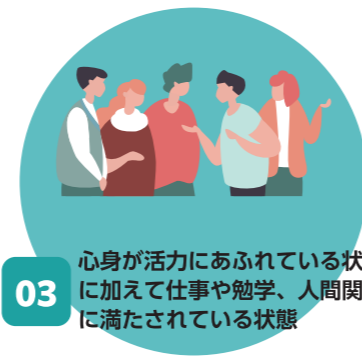
WHO（世界保健機構）は、1948年の憲章でこのように健康を定義し、世界に広めてきました。日本政府や自治体・企業でも働き方改革やSDGs推進の一環として様々な取り組みが始まり、近年では、教育現場でも重要な要素として用いられるようになっていきます。



01 心身に病気を抱えていない状態



02 心身が活気に溢れている状態



03 心身が活力にあふれている状態に加えて仕事や勉学、人間関係に満たされている状態

ウェルビーイングには、本人の感じ方に基づく【主観的ウェルビーイング】と、数値で測れる【客観的ウェルビーイング】の2つの側面があります。

例えば、高収入・安定した職・充実した医療・教育環境が整った生活など社会的に恵まれた生活を送れていても、生きがいを感じられない、常に不安や孤独を抱えているなど、自分が「幸せ」を実感していなければ、ウェルビーイングは不十分な状態といえます。

働き方や生き方が多様化し、価値観も変化している現代において、自分が精神的にも身体的にも社会的にも「自分は幸せだ」「満たされている」といった【主観的なウェルビーイング】の把握が重要となります。

familyizuメンバー にとっての伊豆市での ウェルビーイングな 子育てとは・・・



周りのサポートがあるから母になっても挑戦できています。



自分らしくいられる。夫の両親の全面協力に感謝。



頼れる人が近くにいるっていいね。



奥さんの実家でも美味しくご飯を食べて家族団らん。



毎年楽しみにしている修善寺橋のこいのぼりも。



みんな答えはそれぞれ！「わたしにとって伊豆市でのウェルビーイングな子育てとは」是非皆さんも書いてみてくださいね。

familyizuメンバーに聞いてみた

わたし自身がどんな時に幸せを感じていますか？



「ご近所さんから野菜や手作りのお菓子をいただくことがよくあるんです。」



「こども園と小学校と一緒に芋掘りや落花生の収穫体験を毎年やってくれる。小学生の頼もしい存在や体験の畑を提供してくれる地域の農家さんの存在がありがたいです。」



「子ども連れでも、地域のお店がとても優しいんです。」

伊豆市はどのように親子の幸せを育む場所ですか？



○少し“おせっかい”だけど、あたたかく支え合う町。

○親も子ども、多様な学びや出会いに開かれた地域。「人が関わり合うこと」を大切にする文化が、これからも受け継がれていく姿が思い描かれました。



○待機児童の心配が少ないことも、安心の一つ。子どもを産んだあとも働き続けられる環境が整っていることは、親にとって大きな心強さにつながっています。

○伊豆市は空気が澄んで美味しく、海も山もすぐそばにあります。自然が身近にある環境は、日常に豊かさを与えてくれます。

わたしの×伊豆市のウェルビーイング

今回の対話から見えてきたのは、伊豆市の子育ての幸せは「自然」・「人」・「安心感」の重なりの中にあるということ。伝統や地域との関係性を大切にしながら、心と体の両面でのウェルビーイングを育む子育て環境を、これからも地域みんなで作っていくことの大切さが見えてきました。

考えてみた感想

- 困ったときに安心して声を掛けられるご近所さんがいるって大切！伊豆市のいろんな場所や人からこの土地の伝統や歴史をたくさん子どもたちにも学んで欲しいと思いました。
- ご近所さんから声をかけてもらったり、野菜のおすそ分けをいただいたり、伊豆市では当たり前だと思っていたことが、実は隣町ではあまりそうたご近所との付き合いはないことを聞いて、少々面倒だなと思ったこともありましたが、改めて幸せなことだと再認識しました。

「あなたにとっての幸せ」「自分が暮らしている伊豆市での幸せ」ってどんな時ですか？毎日の中に自分らしさ、心地よさを感じられていますか。「幸せ」は人それぞれ。そっと自分の心に寄り添ってみませんか。

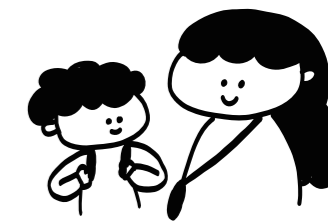




大人も子どもも

ドキドキ・ワクワクの体験を！

親子で体験できる市内のスポットを集めました。
伊豆市には、大人も知らない世界が
まだまだいっぱいです！



木綿豆腐と絹豆腐の
違い、知っていますか？
大人も学ぶこといっぱい！

農産物直売所 季多楽

天城の名水と大見の大豆を使った豆腐作り体験

美味しい食感と味を出すためには“にがり”を入れる時の温度管理が大事！温度計とにらめっこしながら、大きなへうで豆乳を混ぜ続けました。作りたての温かい豆腐の美味しさは格別！普段食べている豆腐がどう作られているのか知ることができました。



📍 伊豆市柳瀬 252-1 ☎ 0558-83-2636

👁 体験料1人2,200円、事前予約制、4人以上で受付。
豆腐の他にも、ひとくちがんも、厚揚げ、油揚げ、おからも絶品！直売所で購入可能。



年中・小2の子ども
と行ってきました！

滑沢渓谷～太郎杉 ハイキング

川の音を聞きながらの散策が気持ちいい♪

広めの道なので、子どもも歩きやすい！太郎杉に着いておやつを食べ、のんびり戻ってきても2時間弱と気軽に楽しむことができます。

📍 伊豆市湯ヶ島(滑沢渓谷バス停車)
～滑沢渓谷まで5分～太郎杉まで30分

☎ 0558-85-1056
伊豆市観光協会天城支部

👁 車は道の駅天城越えへ(無料)
普通のスニーカーでOK。
夏は虫よけがあると◎



すごい大きさ！
大人も子どもも
大興奮！

コマツテクノセンターショールーム

“はたらく車”の迫力に大興奮！

普段はコマツの商品の見学や試乗をする施設ですが、年2回ほど、子ども向けの見学会が行われています。重機たちが音楽に合わせてダンスするようなショーや、ミニショベルの運転体験等ができます。



📍 伊豆市徳永 697

👁 イベントは事前申込制、参加無料。
応募者多数の場合は抽選。
詳しくは、コマツテクノセンタ
公式サイトをご確認ください。



オジサンという魚が
獲れて大喜びww

土肥 屋形海岸

伝統漁法「地引網」を体験！獲った魚でBBQ！

秋限定の人気イベント。網はみんなで引いてもかなりズッシリ。やっとの思いで引き揚げ、魚と対面の瞬間は歓声が！漁の大変さや命をいただくありがたさを親子で存分に感じることができました。

📍 伊豆市土肥 ☎ 0558-98-1152
土肥観光案内所

👁 毎年秋の週末に開催・事前予約制
所要時間は地引網とBBQ合わせて1時間半程度
車は松原公園駐車場へ
服装は長ズボン・長靴がオススメ



伝統の技や修歴にふれ
ながら、ゆったりとした
時間を過ごせました

紙谷和紙工房

千年の時を越えて受け継がれる 紙漉きを体験

和紙ができるまでのお話を聞いたあと、原料となる植物を見学し、実際に紙漉きに挑戦！名刺やはがき、大きめサイズなど好きな形を選び、季節の草花をあしらって仕上げます。完成した和紙は後日郵送されるので、届く楽しみも。



📍 伊豆市修善寺 1302-4

👁 駐車場あり。
体験は事前予約制。
対象は小学生以上。
夏と冬には子ども向けの体験イベントも。
詳細は、ウェブサイトをご確認ください。



食べ物や雑貨など、
心のこもった手作り
の品が並びます。

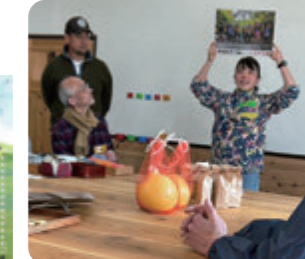
またね村

「ぶつぶつ交換」で楽しい・おいしい出会いが♪

500円相当の手作り品を持ち寄って、8時半から始まるぶつぶつ交換会。持ち寄り品に込めた想いを語り、気になる物の交換をお願いしに行くスタイルで、自然とコミュニケーションが始まります。子どもたちは外の鶏小屋をのぞいたり、ブランコ遊びもできて、交流を楽しみながら自然体験もできます。

📍 伊豆市八幡1053

👁 駐車場あり
参加費無料
(500円相当の手作り品持ち寄り)



雨の日・暑い日のリアルな過ごし方

雨や暑さで外に出にくい日、みなさんはどんなふうに過ごしていますか？
同じように悩む声をよく耳にし、公式 Instagram でフォロワーのみなさんに聞いてみました。

☘️ 屋内で安心 おでかけ編

図書館1日コース

市内には4つの図書館があり、それぞれ特徴があるので巡るのもよし。
各年齢向けにお話会等のイベントもあるので公式HPを要チェック。



- ▲ 修善寺図書館
● 伊豆市小立野66-1
- ▶ 天城図書館
● 伊豆市湯ヶ島117-2



あえての温泉へGO!!

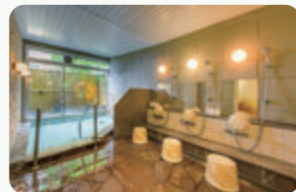
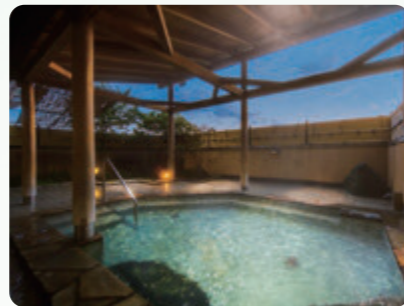
露天風呂があれば雨にぬれても気にならない♪
お食事処がついているところであれば尚よし。

湯の国会館



- 伊豆市 青羽根188

中伊豆ワイナリーヒルズ



- 伊豆市 下白岩1434

東京ラスク伊豆ファクトリー



ラスクの販売だけではなくイタリアンジェラートの食べ放題もあり。
プレイルームも併設されているので雨の日でもOK。



- 伊豆市 市山550



土肥集学校



旧土肥小学校を再活用された施設。空き教室の開放や各種イベントが行われているのでインスタグラムを要チェック。

- 伊豆市 土肥638



伊豆半島ジオパークミュージアム ジオリア



伊豆半島の成り立ちなどがわかりやすく解説されている場所。展示を見るだけでなく石に触れたり顕微鏡を使ったりできるので夏休みの自由研究にもおすすめ。



- 伊豆市修善寺838-1 修善寺総合会館内



中伊豆室内温水プール ふれっぷ



室内温水プールのためどんな天候でもOK。
赤ちゃんから利用できる。



- 伊豆市 上白岩828-2



☘️ おうちでのんびり編

●お菓子作り

●子どもとキッチンに立つのはなかなかハードルが高いかもしれませんが、完璧を求めずたまには汚しちゃっても大丈夫。



●ボードゲーム、アナログゲーム

- 幼児さんでもトランプ(神経衰弱)ならルールもわかりやすくおすすめ。
- 公文の将棋は駒ごとに進む方向が書いてあるので子どもでもわかりやすい。



●工作、おりがみ

- 段ボールやティッシュ箱をとっておくとすぐに始められる。
- テープがあるだけで遊びが広がる。



●塗り絵

- 薬局やスーパーに置いてある塗り絵で楽しめちゃう。
- インターネットで検索すると無料の素材などがあるので印刷してみてもいい。



雨の日も暑い日も
頑張らなくていい日
あって大丈夫。
良かったら参考に
してみてください。



おうち時間に助かる ちょこっと準備リスト

- 折り紙 (多めにあると安心!)
- はさみ(子ども用)
- シール (年齢問わず大活躍)
- セロハンテープ・のり
- 空き箱・トイレトペーパーの芯
- クレヨン・色えんぴつ

たまには “わたし時間”を みんなのリフレッシュ法を

紹介します！



カフェでひとり、心を整える

お気に入りのカフェで、読書をしながらゆったりと過ごすひととき。
子どもと離れてほんの少し静かな時間を持つだけで、心がスッと落ち着く。
コーヒーの香りに包まれて、「またがんばろう」と思える瞬間。
お気に入りの本を一冊持って、思いきって“ひとり時間”を楽しんでみませんか？

オススメ



「茶房 吾輩」

「3Bコーヒー」

「Cafe HISAGO」

Pick up

修善寺温泉場の「茶房 吾輩」の濃厚抹茶ラテやほうじ茶ラテ、季節のチーズケーキは絶品。和風モダンな空間でお茶を味わう至福のひととき。

修善寺駅から徒歩3分、「Cafe HISAGO」。週替わりランチや、旬の素材をたっぷり使った手作りケーキが人気。まるで南国にいるようなのんびりとした雰囲気魅力。

自然の中で深呼吸

早朝マラソンや、狩野川沿いの散歩コース。
季節の風や鳥の声に耳を傾けながら歩くだけで、
頭の中のモヤモヤがすーっと消えていく。
時間がないときは、スーパー帰りに少しだけ寄り道してもOK！
「今日は空がきれいだな」——そんな小さな発見が、毎日をやさしく変えてくれます。

Pick up

修善寺駅北側、狩野川堤防沿いに続く約30本のソメイヨシノ。見頃は3月下旬～4月上旬。春の散歩にぴったりの桜スポット。

伊豆市内には8つのゴルフ場があり気軽にゴルフが楽しめる。富士山を望む絶景の中、のびのびとフルスイング！開放感あふれる打ちっぱなしゴルフで、パパもリフレッシュしよう♪子どものためのゴルフ教室もあります。



「修善寺駅前桜並木」



「旭滝」



「ゴルフ」

オススメ



おうちでほっと、わたしリセット

子どもが寝たあと、部屋の明かりを少し落として、お気に入りのカップでハーブティーを一口。
アロマの香りを漂わせながら、音楽を聴いたり、編み物をしたり、写真を整理したり。
家の中でも、ちょっとした工夫で“癒し空間”はつくれます。
「今日もよくがんばったな」そんな自分をやさしくねぎらって。

オススメ



「落合ハーブ園」



「koto」



「編み物」

Pick up

自分で焙煎したコーヒーはひと味違う。「koto」では手廻し焙煎機で“コーヒーをつくる体験”ができる。世界にひとつだけの味を、自分へのご褒美に。
伊豆市在住・4児のママ「あみあみいろ」さんによる、やさしい編み物レッスンがおすすめ。
心を落ち着かせる趣味に編み物はいかが？



「ディンプルアート」



「ヨガ」



「OHANA」(お酒の入ったスイーツ)

ママ友とおしゃべりでリフレッシュ！

「子ども抜き」で会うランチは、まるで小旅行。
笑って、しゃべって、共感して——それだけで心が軽くなる。
育児の悩みも、ママ友と話すと思議と前向きになれるもの。
忙しい毎日だからこそ、人とつながる時間を大切に。

Pick up

修善寺駅前にある「The Crank Pizzeria」では、イタリア修行で培った本格的な窯焼ピザが味わえる。加水率70%の軽い生地、唯一無二の食感をぜひご堪能ください。

「石窯焙煎珈琲・カフェ & ガーデングリーンポケット」では珍しい“利き珈琲”が体験できる。予算に合わせたミニパーティーや宴会、囲炉裏料理などもおすすめ。



「松屋商店」



「グリーンポケット」



「The Crank Pizzeria」

オススメ

リフレッシュに“正解”はありません。
大切なのは、「少しでも自分を大切にしている時間を持つこと」。
どんな形でも、“わたし時間”があるだけで、
また笑顔で子どもと向き合えるはず。
次のお休みには、ほんの少しだけ——自分にやさしい時間を。

「まだ大丈夫」な今こそ、備えどき。



「いつも通り」が一番の安心。



「もしも」の時も、落ち着いて過ごせるように。

普段の暮らしのまま取り入れられる小さな備えで、安心を積み重ねられます。

安心につながる備蓄品

- ベビーフード・子ども用の食べ物(水分含む)
 - ▶ 普段食べているものを
 - ▶ ローリングストックがオススメ!
 - ▶ 非常食の場合は、子どもが好きな味のものを
 - ▶ 1日分/できれば3日分
- 紙おむつ・おしりふき
 - ▶ 災害後は品薄になりやすい
 - ▶ 1日分/できれば3日分
- 食べ慣れたお菓子
- お気に入りのおもちゃ
- ウェットティッシュ
 - ▶ 手洗いでできない時の必需品
 - ▶ ノンアルコールタイプもあると安心
- ラップ・アルミホイル
 - ▶ お皿に敷くだけで洗う手間が減り、水の節約にも
- 紙コップ・使い捨てスプーン
- 使い捨てマスク
- トイレ備蓄(凝固剤とビニール袋のセット)
 - ▶ ビニール袋は中身が見えづらい色で、防臭機能がついているものがオススメ
 - ▶ 目安：5回 × 人数 × 日数(最低でも3日間)
(例)4人家族：5回 × 4人 × 3日 = 60個

POINT ベビーフードやおむつは、半年ほどで必要なもの
が変わることがあります。無理なく続けるために、
定期的に中身を見直す日を決めておくとGOOD!

簡易トイレ

災害でトイレが使えなくなると、簡易トイレを前に子どもは「ここですの?」「はずかしい…」と戸惑いや不安を感じやすいものです。事前に使い方を体験しておくだけで気持ちがぐっと楽になります。いざという時に落ち着いて過ごせるよう、今のうちに親子で簡易トイレを試してみませんか?

使い方

- ① 用を足す
- ② 凝固剤をいれる
- ③ 袋を縛る
- ④ ゴミ箱に入れる
- ⑤ 次の人の袋をセット

緊急時の情報収集

災害時は、正しい情報を早く知ることが家族を守る力になります。信頼できる情報源を事前に登録しておきましょう。避難指示や開設される避難所など、最も確実な情報が届きます。

- 伊豆市 公式LINE
- 伊豆市 情報メール
- 静岡県 防災アプリ
- ラジオ (FM IS)

ひなた公園

日向地区に、2026年春に開園予定。管理棟では、食料や水を保管できる防災機能が整えられています。芝生広場は、応急仮設住宅が約200戸建てられるほどの広さがあり、災害時には多くの人を支える拠点になります。また、マンホールトイレも設置されるため、もしもの時もトイレを早く使える安心があります。遊具も設置されるので、開園したらぜひお子さんと遊びながら、防災の役割も一緒にチェックしてみてください。

伊豆市の未来を考える、こんな人

伊豆市立伊豆中学校校長 駿藤 衛先生



Q1 伊豆中学校開校1年目、どうですか?
『1年目』という節目に携わるのは貴重な経験です。大人も子どももそれを楽しみたいし、3年生たちには伊豆中に通った1年を「良かった」と思ってもらいたい。そんな気持ちで「伊豆中開校イベント第〇弾」と称してたくさんの催しを開催しています。

Q2 伊豆中学校で力を入れていることは?
①防災
伊豆中学校、隣接するひなた公園は有事の際に人が避難して行くことを想定して設計されています。中学生は大人に守ってもらうだけでなく、自ら動き、守れるように「ふじのくにジュニア防災士」と「普通救命講習」の資格を2年生がダブル取得しました。
②伊豆タイム
部活のない放課後、生徒たちに希望制で行っている学習プログラム。英語日常会話や防災教育、動画作成などを学んでいます。伊豆タイムに生徒たちが作った学校PR動画は、4本合計で50万回SNSで再生されるなど、かつてない広がりを見せています。

Q3 これからやりたいことは
まずは『子どもに任せる』ということ。開校して半年は大人たちが先導してたくさんの活動をしてきましたが、この先は子どもたちのしたいことを応援したい。生徒たちが学校にどんどん参画してきてくれることを期待しています。

今、生徒たちは行動の指針となるような『伊豆中スタンダード』を自ら作っていて、今年度中の完成を目指しています。キャリア教育も今後取り入れていきたいです。
世の中にはたくさんの職業があって、たくさんの方がいるのだということを知ってもらいたい。比較対象がないと生徒たちの選択肢がないと思うので、さまざまな職業の方に会う機会を増やしていきたいです。



インタビューコメント
優しさとパワーあふれるアイデアマンな校長先生でした。息子を伊豆中に通わせる日がとても楽しみです。お忙しい中お話を聞かせてくださり、ありがとうございました!

★伊豆市立伊豆中学校
場所：伊豆市日向430

生徒が作ったPR動画

伊豆中HP

放課後等デイサービス いろみず 森 大瀬さん



Q1 なぜ、伊豆市に放課後等デイサービスをつかったのですか?
アメリカの幼稚園でボランティアをしながら、さまざまなバックグラウンドの子どもたちと過ごしました。言葉や文化だけでなく、発達も人それぞれ。そこで出会った先生と、日本で障害を抱える子どもたちがのびのびと過ごせる施設を作りたいという話が出て、漠然と私の中でそれが人生の夢となりました。帰国し子育てをしながら保育士を取得。子育てがひと段落したら放課後等デイサービスを立ち上げようと思っていました。私の夢ノートには「広い庭のある戸建てでアットホームな施設をつくり関わる人全員が笑顔になれるようにする」と書いてあります。そんな中、伊豆市には放デイが1つしかなく、子どもたちの居場所確保のため、そして保護者の就労の機会を防ぎたいという思いから立ち上げることを決め、今に至ります。

Q2 子どもを通わせるにはどうしたらいいですか?
いろみずを見学してみたいという方はお気軽にお問い合わせください。放デイは小学1年生～高校3年生までが利用することが可能ですが、見学は年長さんも受け付けています。放デイに通うためには【通所受給者証】が必要になりますが、その発行についてもお伝えできますので、電話やメールでお気軽にご連絡ください。

Q3 いろみずで大切にしていることは何ですか?
どんな子にも得意・苦手があり、その子だけのグラデーションがあります。強みは活かし、できないことは人を頼る。この考えをとて大切にしています。子どもたちはすでに成し遂げる力を持っている、その力を引き出すのが私たちの仕事です。いろみずに通うお子さんが「どうやってら」で

きた」という達成感を持つ事ができるのか?」を日々考え、その子に合わせた活動内容をしています。工作中、全員が同じ作業をすることはありません。作るものをデザインから考える子、ハサミに挑戦する子、糊付けの触感を楽しむ子。苦手なことを無理矢理やらせるのではなく、好きなこと・得意なことと掛け算をして子どもたちの『できた!』につなげていきます。

Q4 子育て中のパパ・ママにメッセージをお願いします!
子育ては「どれだけ周りの人を頼れるのか」が重要だと思っています。子育てをしている皆さんにとって、いろみずが1つの頼れる先となっていたら、それほど嬉しいことはありません。「子どもを預ける」ということに対して、後ろ向きになってしまう方もいかもしれませんが、放デイは保護者の休息に使うことができる場所でもあります。「我が子のことだから」と保護者だけが頑張るのではなく、「大事な我が子のことだからこそ」わたしたちと一緒にこどもの未来のことを考えていきましょう!

インタビューコメント
少子化が進んでいる中で、困り感のある子どもたちのために、そしてその保護者のためにと動いてくれる人がいることがわたしたちの支えになるなど改めて実感しました。自分の子どものことだからこそ、自分がどうにかしないと!と思ってしまうがちですが、こういう場所を利用することで、子どもと一緒に親も無理せず成長していけると思います。

★放課後等デイサービス いろみず
場所：伊豆市修善寺592-8 電話：0558-99-9620
メール：contact@iromizu-izu.com

いろみず Instagram